



道農連 月間活動トピックス(2014年6月) 17号

HP <http://www1.ocn.ne.jp/~donouren/> ☎011-241-5416

第2回執行委員会・農政改革実現委員会合同会議で、全道集会開催を決定

道農連は6月5日、第2回執行委員会・第2回真の農政改革実現対策委員会合同会議を開催し、TPP交渉をめぐる最近の動きと今後の対応や「真の農政改革」実現に向けた基本農政の確立対策等について協議した。

TPP交渉対策では、7月からの首席交渉官会合がTPPの早期妥結に向けた大きな山場とされているため、7月3日に札幌市大通公園西6丁目広場で全道集会の開催を決定。集会では、TPP合意及び急進的な農業改革に断固反対する決議を採択し、デモ行進を実施するとした。

また、基本農政の確立対策では、政府が進める急進的な農業改革に反対する要請項目をまとめ、緊急地元国会議員要請や署名活動を展開することを決めた。

ローソン会長補佐らと意見交換を実施

道農連三役は6月24日、東京で産業競争力会議農業分科会座長である新浪ローソン会長の補佐役を務める担当役員と農業、農政問題に関する意見交換を実施。新浪氏本人との意見交換を求めてローソン側と日程調整を進めてきたが新浪氏の都合がつかず、今後都合が付き次第、新浪氏との面談をすることを前提に担当役員との意見交換が行われた。

意見交換では、山田委員長から組織概要や本道農業の現状を説明し、急進的な規制改革による本道農業への悪影響や企業の農地所有の危機などを訴えた。

ローソン担当役員は、道農連三役の話に一定の理解を示したが、農業の競争力強化には農地の大規模化が必要だと述べるなど話しは平行線のままとなった。

最後に山居書記長は、新浪氏との意見交換を早期に実現できるよう強く求めた。

各部門別対策委員会を実施

道農連は6月23日、畑作・野菜対策委員会を開催し、道産麦の販路確保対策などを協議した他、「道産麦の販売対策の強化や生産体制の整備」などについてJA道中央会、ホクレン麦類課と意見交換を実施。

25日には、酪農・畜産対策委員会を開催。秋闘：酪農・畜産基本政策の確立に関する提言事項を決定した。また、「平成26年度取引乳価交渉など生乳共販をめぐる動き」についてホクレン酪農部と意見交換を実施した。

6月の活動記録(上記以外)

- 1日 アジア・アフリカ支援米「田植祭」
- 4日 道農連三役会議
- 7日 緊急地元国会議員要請(～15日)
- 9日 持続的酪農経営支援事業に係る説明会
- 19日 てん菜協会第2回理事会
- 26日 川西農民連盟研修来局
- 30日 第1回てん菜・てん菜糖合理化検討委員会

7月の活動予定

- 7/3 北海道農業を潰すTPP合意・農政改革に断固反対する全道農民集会
- 7/9 TPP問題を考える道民会議幹事会
- 7/10 ニセコ町農民同盟研修来局
- 7/11 道「農」ネット総会及び研修会(～12)
- 7/14 北海道農業再生協議会通常総会
- 7/15 中山間地域等直接支払制度・多面的機能発揮促進法に係る現地調査
- 7/24 第3回移動執行委員会(～25)
- 7/30 酪農・畜産対策中央行動(～31)

詳しくは、「北海道農村新聞」(年間購読料1,800円・税込)をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局(011-241-5416)まで